

あ い さ つ

仙台市中学校長会長 庄子正剛

桜の花も散り始め、新緑がまぶしい春たけなわの季節を迎えました。

本日ここに、仙台市教育局教職員課主幹の日塔 光博様はじめ、多数のご来賓の皆様にご臨席を賜り、平成20年度、第2回仙台市中学校長会総会が開催できますこと、誠に喜びに堪えません。

ご列席いただきました皆様に対しまして、本会を代表し心から御礼を申し上げます。

さて、この春、ご勇退なされました16名の先輩の先生方は、三十有余年もの長い間、教育一筋に打ち込んでこられました。時の流れの速さと、その折々のご苦勞を思い起こすとき、感慨ひとしおのことと拝察申し上げます。

本会は2年目になりますが、ここまで順調に進展し、成果を上げてきたのも先生方の使命感や教育愛に負うところが大きく、会員一同、改めてその功績に敬意と感謝を表すものであります。

第二の人生におかれましても、更なるご活躍をご祈念申し上げます。

次に、この4月の人事異動で昇任されました14名の校長先生方おめでとうございませう。学校経営の責任者として、これまで培われた力量を存分に発揮されることをご期待申し上げますと同時に、本会に、清新なる風を吹き込んでいただきたいと思います。

さて、現学習指導要領が改訂される時点では、社会の激しい変化に対応し、豊かな未来社会を積極的に創り出す能力を持ち、国際社会においても信頼され尊敬される日本人を育成することが重要な課題でありました。

当時の生徒をめぐる状況から、「ゆとり」の中で「生きる力」を求め、改訂された現学習指導要領も残すところあとわずかになりました。

今は、学習指導要領の改訂に向け、中教審の審議のまとめ等の発表がなされ話題となっております。

今年度は現学習指導要領のまとめの段階に

入りますが、同時に文科省から改訂に向けた全容の周知が図られるものと思います。

仙台市教育委員会では、今年度の「杜の都の学校教育」において、平成20年1月に中教審から新学習指導要領改訂に向けた答申を踏まえ、「健やかな心と体の育成」、「確かな学力の向上」、「自分づくり教育の推進」の3点を最重点事項として、子供たちが主役の教育活動の推進に取り組むことを明記しております。

我々はこの最重点事項を確認し合い、校長として、その実現に向け鋭意努力することが大切で、またその実現が新学習指導要領実施に向けての橋渡しにもなるものと考えています。

これまで、特色ある学校づくりや学力の問題、教員評価、学校の説明責任や外部評価、在校時間等々の問題を市教委のご指導を仰ぎながら解決に努め、軌道に乗りつつあります。

これからは、少なくとも新学習指導要領の内容の理解と先行実施の準備、そして平成22年3月の高校入試に関わる全県一学区への対応に取り組まなければならないと考えています。

また、副校長や主幹教諭等の配置に関わる新制度の早期導入についても、県教委や市教委にお願いしなければならないと思っております。

私たち校長は学校経営の最高責任者として、使命感と確固たる教育理念を持ち、将来を見据え、これらの諸課題の解決のために立ち向かわなければならないと考えています。

それにしては、浅学非才で頼りない我々です。ここににおいで市の教委の皆様をはじめ、諸先輩方の厳しいご指導、ご教示を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご多用の中、ご臨席いただきましたご来賓の皆様方に重ねて感謝を申し上げますと共に、ご退会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます、開会の挨拶といたします。